

参考資料

参考1 アンケート調査結果について

■調査概要

「景観まちづくり計画」の策定から十数年が経過する中、計画の見直しにあたり、これまでの本市の景観形成に関する取組について、市民の皆さまの思いや考え方をお聞きし、見直しの参考とするためにアンケート調査を実施しました。

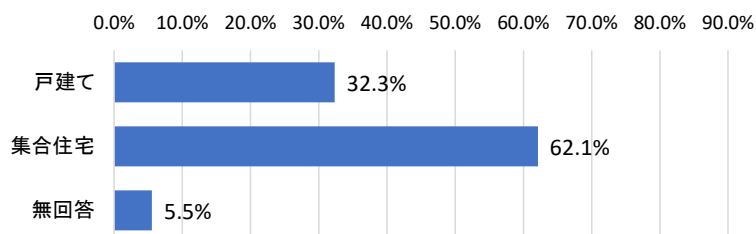
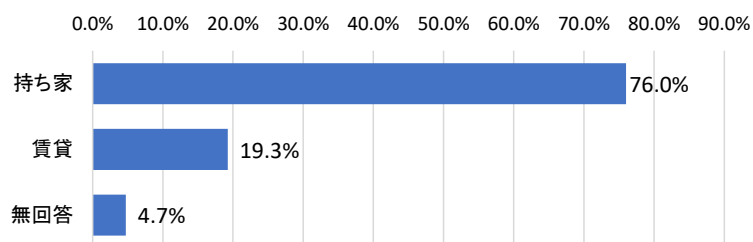
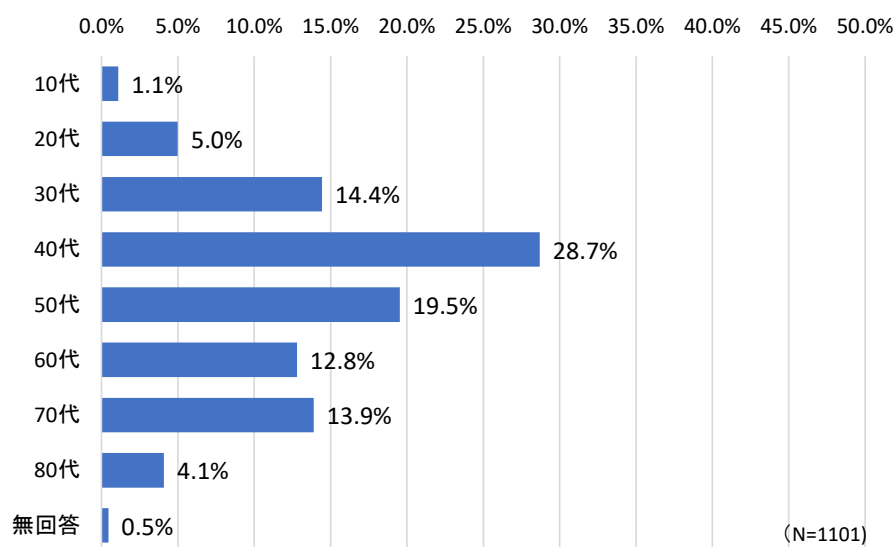
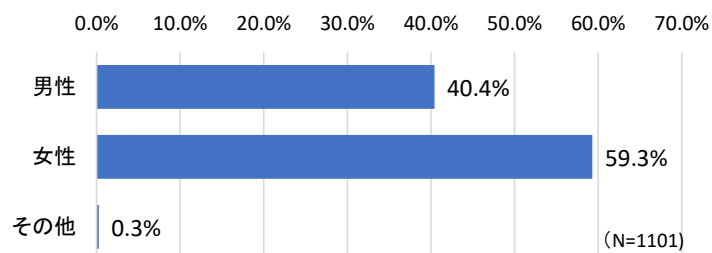
配付日		令和元年（2019年）9月13日
回収期限		令和元年（2019年）9月31日
対象者	一般(市全域)	吹田市在住の18歳以上85歳以下の方（無作為抽出）
	重点地区	新芦屋上地区または長野東地区(1)在住の18歳以上85歳以下の方
配布方法	一般(市全域)	郵送
	重点地区	各戸にポスティング
配布数	一般(市全域)	2000部
	重点地区	1000部
回答数	一般(市全域)	747部(回収率：37.4%)
	重点地区	354部(回収率：35.4%)
回収方法		同封の返信用封筒を用いて市に返送

■結果概要

- ・ 回答者について
 - － 住まいの所有形態は、全体的に持ち家が多い。(76%)
 - － 住まいのタイプは、約 60%が集合住宅である。
- ・ 市内の景観について(問 1～3)
 - － 市内各地にある魅力ある景観や環境について、約 70%以上の人がある特徴を知っている。
 - － 約 70%以上の人がある景観や環境の特徴を大切だと感じている。
 - － 吹田市を特徴づける大切な景観として、「緑豊かな景観」「万博公園周辺の新たなにぎわいの景観」などが上位に挙がっている。
 - － 市内の景観の変化に対する印象については以下の通り。

良くなったと思う	・ マンションなど大規模建築物のデザイン・色彩 ・ 住宅地のデザイン・色彩や緑 ・ ごみのポイ捨てや自転車の放置状況 ・ 水辺や公園、道路などの公共空間の緑
良くなったとは思わない	・ 駅前や商店街のにぎわい ・ 屋外看板や広告物の色彩や大きさ
 - － 重点地区の認知度は低い。(重点地区在住者であっても多くの人知らない)。
- ・ 地域の環境や景観のルールについて(問 4)
 - － 地域の環境や景観に関するルールについては、多くの人が必要を感じており、「環境を良くするためのルール」「ごみのポイ捨てなどに関するルール」「建て替えの際に守るべきルール」が上位に挙がっている。
 - － ルールはいらないと回答した人は、「常識なのでルールはいらない」「ルールがなくても悪くなるとは思えない」という理由を挙げている。
- ・ 景観まちづくりへの関心や参加意識について(問 5～6)
 - － 約 70%の人が景観のまちづくりに関心があると答えている。
 - － 約 90%の人は景観のまちづくりに関する催しには参加したことがない。
- ・ 景観賞について(問 7)
 - － 景観賞の認知度は低い。(約 95%の人が知らない)
- ・ 重点地区について(問 9)
 - － 重点地区在住者であっても約 70%の人は知らない。
 - － 一方でまちなみや環境については概ね高評価であり、約 70%の人が今後も住み続けたいと回答している。

■回答者について



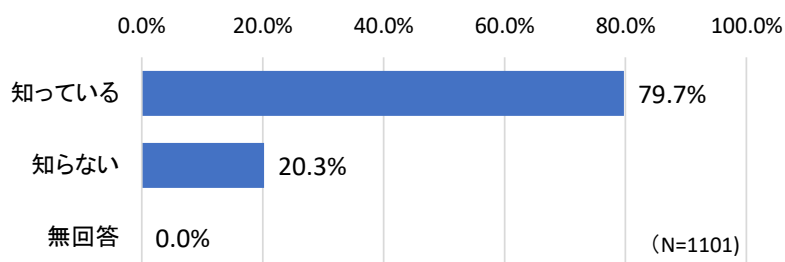
■問 1-1

景観とは「人の暮らしの様子なども含めたまちなみや都市の風景」の事です。良好で魅力のある景観は、快適な暮らしの環境の条件であると同時に、市民に愛着や誇りをもたらしてくれます。

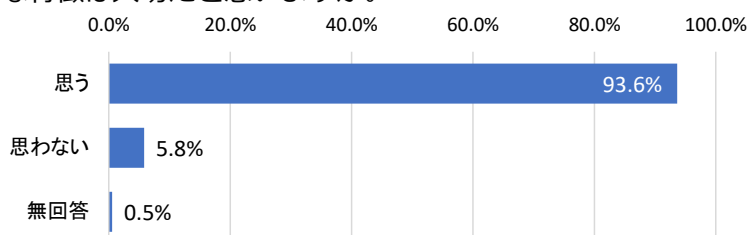
このような観点に立った時、あなたが、これからも大切にしていきたいと思う場所や景観はどのようなものですか。次の質問に対して当てはまるものを選んでください。

①吹田市は丘陵地に位置しているため、地形の変化に富み、魅力的な眺望が見られるとともに斜面緑地など緑の環境があります。

- ・ このような特徴を知っていますか。



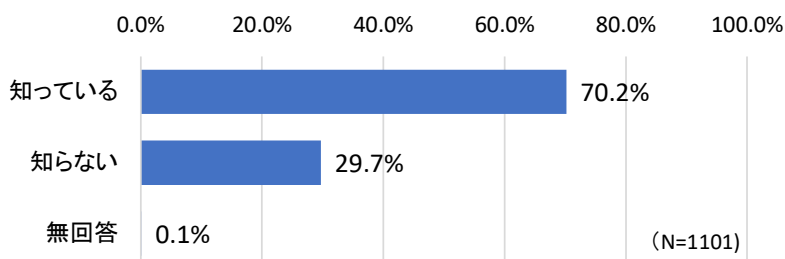
- ・ このような特徴は大切だと思いますか。



- ・ 「知っている」と回答した人が全体の約 80%であり、本市が地形に富み、それらによる眺望や緑など魅力的な環境が形成されていることが、多くの市民に共有されています。
- ・ また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 94%になっています。

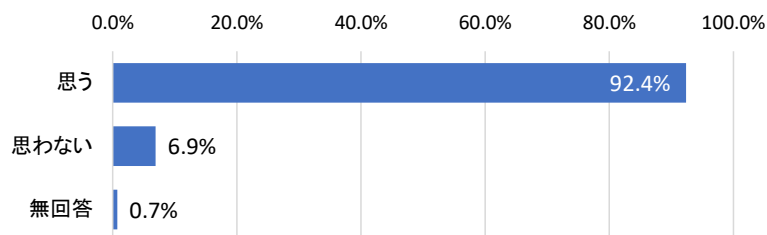
②吹田市は神崎川・安威川の河港として発展してきたことから、河川という豊かな水辺環境があり、また、ため池や公園内の池などが多く見られます。

- ・ このような特徴を知っていますか。



参考1 アンケート調査結果について

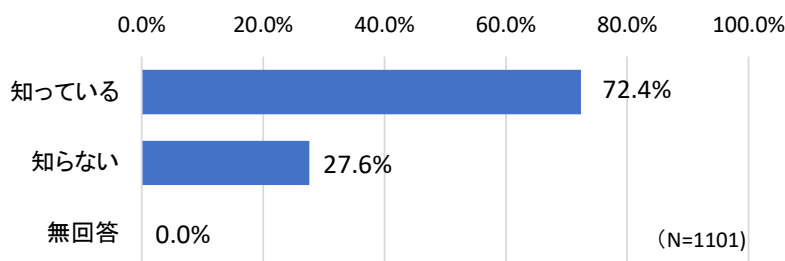
- ・このような特徴は大切だと思いますか。



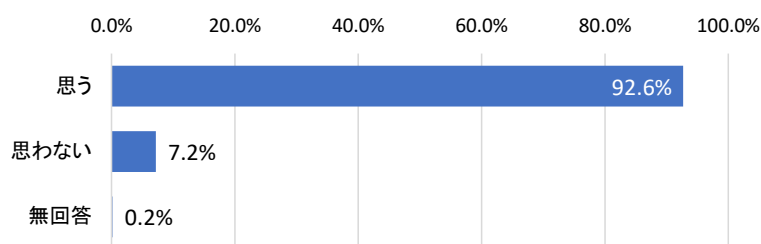
- ・「知っている」と回答した人が全体の約 70%になっています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 92%となり、本市の豊かな水辺環境は多くの市民に親しまれています。

③市内には江戸時代からの内本町、山田、佐井寺、岸部など旧集落や旧街道などの歴史的な趣のあるまちなみが今も残っています。

- ・このような特徴を知っていますか。



- ・このような特徴は大切だと思いますか。

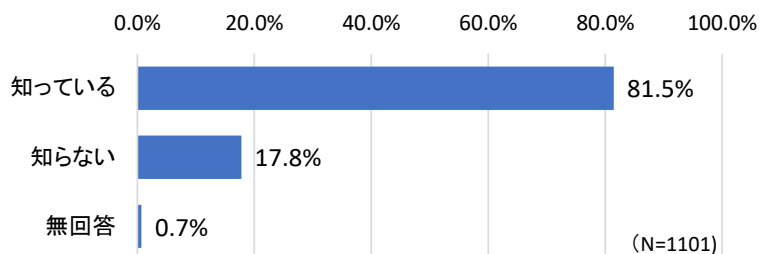


- ・「知っている」と回答した人が全体の約 72%となり、本市の歴史を感じられる旧街道や旧集落、趣あるまちなみなどは多くの市民に共有されています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 93%になっています。

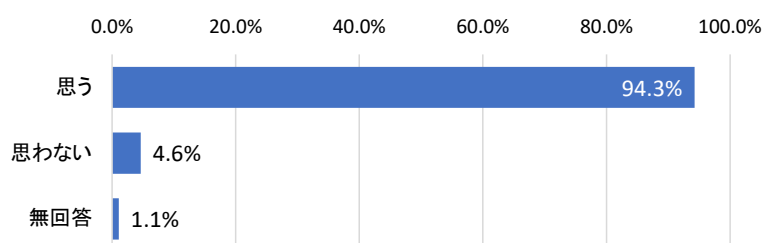
参考1 アンケート調査結果について

④明治以降、千里山の住宅地が開発され、さらには千里ニュータウンや佐井寺の住宅地が開発され、緑豊かで落ち着いた景観の住宅地が広がっています。

- ・このような特徴を知っていますか。



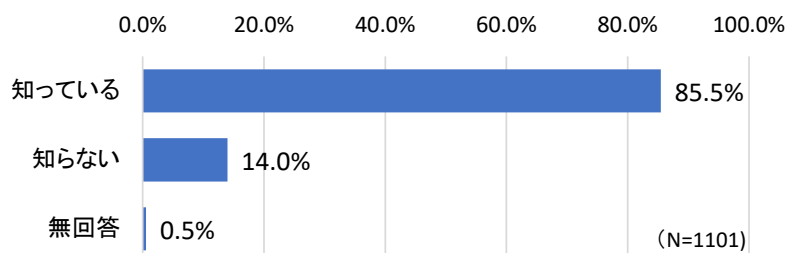
- ・このような特徴は大切だと思いますか。



- ・「知っている」と回答した人が全体の約 82%となり、住宅地開発によって緑豊かで落ち着いた景観が広がっていることが多くの市民に共有されています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 94%になっています。

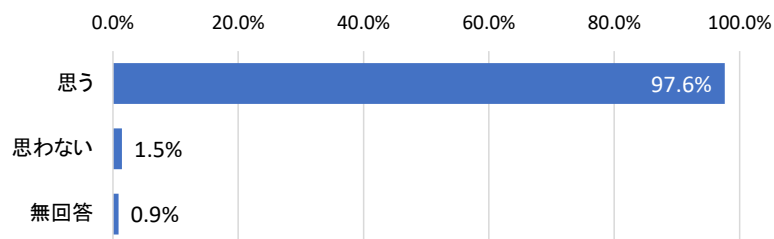
⑤まちの開発の中で江坂公園や千里南公園など緑豊かな公園が整備され、地域の緑の拠点となっています。

- ・このような特徴を知っていますか。



参考1 アンケート調査結果について

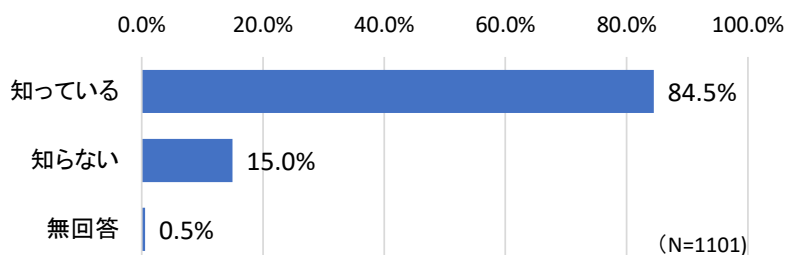
- このような特徴は大切だと思いますか。



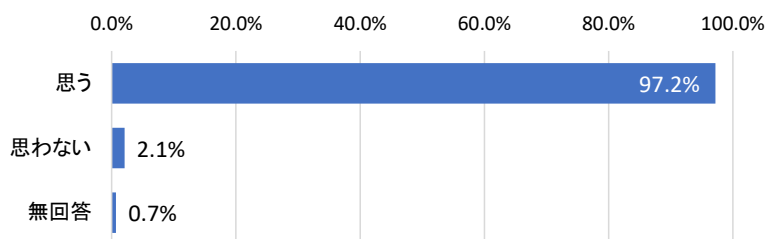
- ・「知っている」と回答した人が全体の約 86%となり、江坂公園や千里南公園などは地域の緑の拠点として、馴染みのある景観となっています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 98%になっています。

⑥整備された道路には並木が植えられ、四季の表情が感じられる空間となっています。

- このような特徴を知っていますか。



- このような特徴は大切だと思いますか。

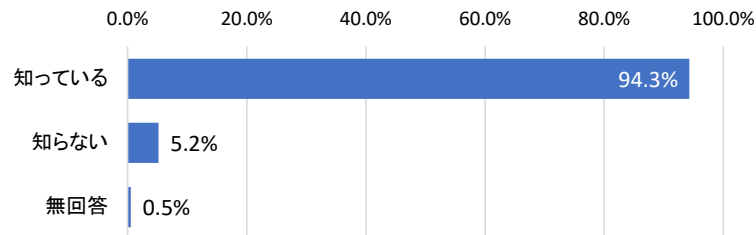


- ・「知っている」と回答した人が全体の約 85%になっています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 97%になっています。

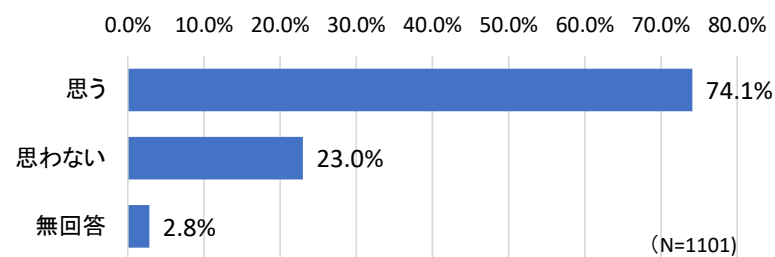
参考1 アンケート調査結果について

⑦江坂駅周辺には、高架の道路や鉄道が通り、業務・商業ビルが集積しています。

- このような特徴を知っていますか。



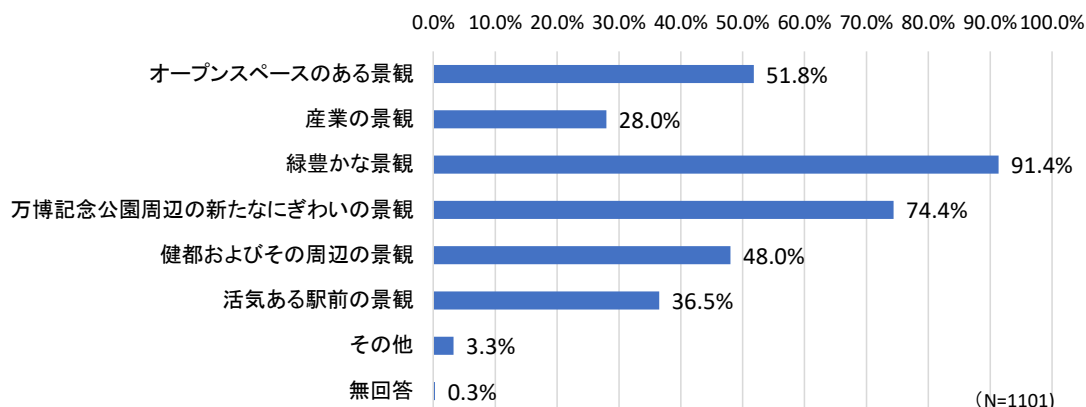
- このような特徴は大切だと思いますか。



- ・「知っている」と回答した人が全体の約 94%になり、業務・商業ビル景観が江坂駅周辺の特徴的景観の一つとして広く共有されています。
- ・また、これらの特徴に対して大切と「思う」と回答した人は全体の約 74%になっています。

■問 1-2

吹田市を特徴付ける地区や場所であり、現在もそして将来も吹田市の魅力を高めていく大切な景観であるとあなたが思うものを選んでください。(複数回答)



・本市の魅力を高めていく大切な景観であると思うものについて、「緑豊かな景観」の約 91%が最も多く、ついで「万博記念公園周辺の新たなにぎわいの景観」の約 74%、「オープンスペースのある景観」の約 52%になっています。みどり豊かな公園などの憩いの場や、にぎわいがあり人が集まれる景観が大切だと感じています。

■問 1-2(その他への回答内容)

吹田市を特徴付ける地区や場所であり、現在もそして将来も吹田市の魅力を高めていく大切な景観であるとあなたが思うものを選んでください。

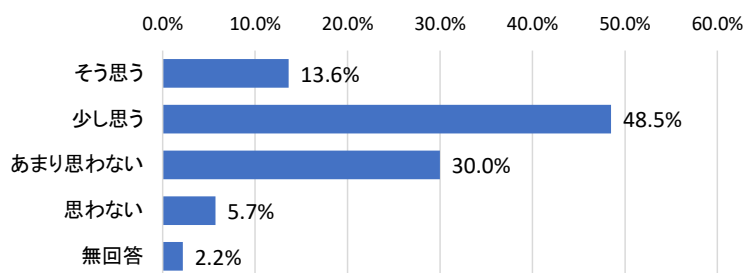
- ・その他の件数について
 - － 一般は 747 件のうち 36 件、重点地区は 354 件のうち 17 件の回答があった。
- ・回答内容について
 - － 一般：「遊歩道のような散策のできる道」「江坂駅周辺の商業・業務地区の高度集積景観」「佐井寺南ヶ丘公園や総合運動場の近隣景観」「公園で子どもたちが安心して遊んでいる姿」「公園などの緑の多い景観」
 - － 重点地区：「伊射奈岐神社等の歴史ある景観」「服部緑地・千里緑地」「ヒメボタルの保護地域」「紫金山公園など元々あった緑の景観」「緑の多い・落ち着いた住宅地の景観」

■問 2

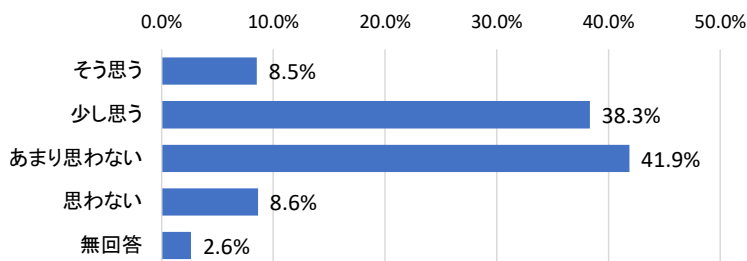
吹田市はここ 10 年、まちの景観について様々な取組を行ってきました。以前と比べてあなたが感じる評価をお聞きます。次の質問に対しての評価をお答えください。

①最近まちなかに建てられるマンションなどの規模が大きな建築について

- ・ デザインや色彩が良くなってきた



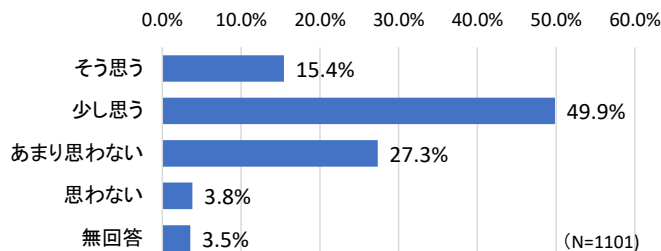
- ・ 周辺を歩いていて圧迫感を感じなくなるなど、周囲と調和するようになってきた



- ・ デザインや色彩に対し「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 62%となっており、近年のマンションのデザインや色彩が良くなったと感じています。
- ・ また、圧迫感や周囲との調和に対し「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 47%となり、半数近くの人が大規模建築物に圧迫感を感じるものが少なく、まちなみと調和する景観形成になっていると感じています。

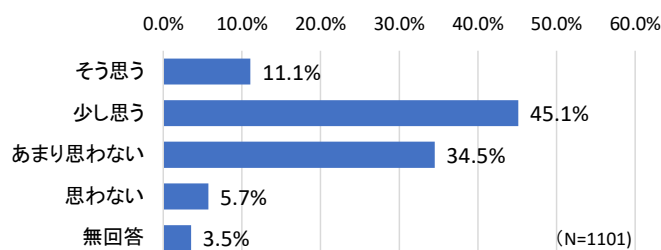
②最近建設された住宅地などの家並みについて

- ・ デザインや色彩が良くなってきた



参考1 アンケート調査結果について

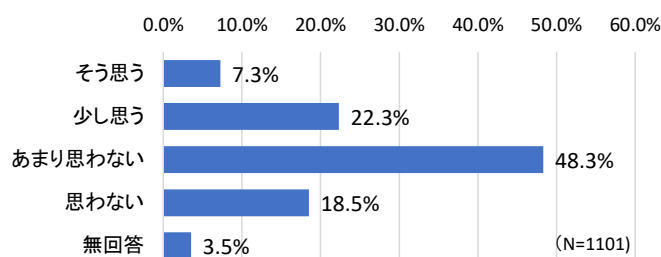
- ・十分に緑が植えられ手入れも行き届いている



- ・デザインや色彩に対し「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 65%になっています。
- ・また、緑の手入れが行き届いているかに対し「そう思う」「少し思う」と回答した人は全体の約 56%になっています。

③近年の駅前や商店街のにぎわいについて

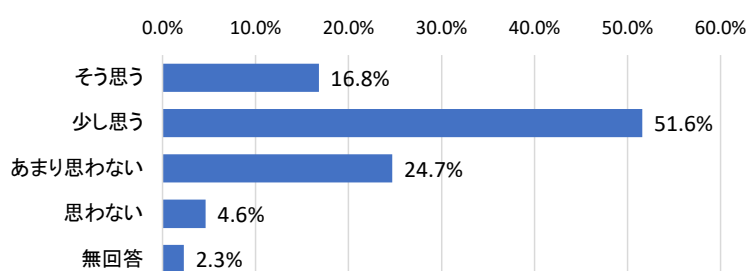
- ・にぎわいが出てきた



- ・「思わない」「あまり思わない」と回答した人が全体の約 67%になっています。

④ごみのポイ捨てや自転車の放置状況について

- ・全体的に良くなり、街がきれいになった

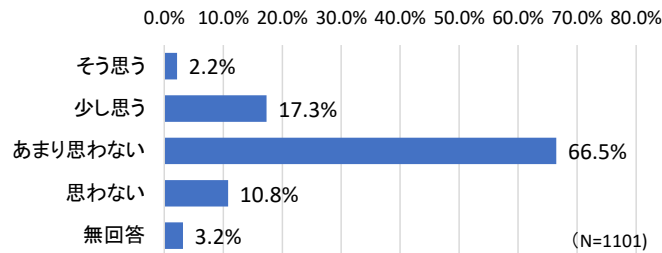


- ・「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 68%になり、多くの人が、街がきれいになったと感じています。

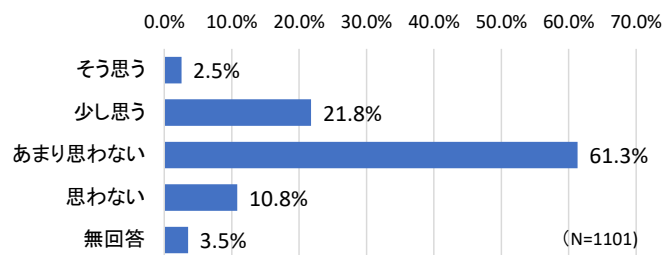
参考1 アンケート調査結果について

⑤最近の看板・広告などの色彩や大きさについて

- ・ 広告の色彩は周囲と調和するものになった



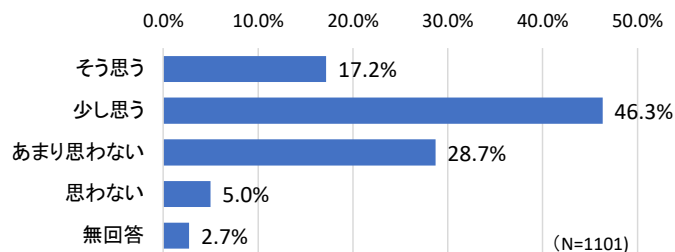
- ・ 広告の大きさは圧迫感のない適切なものになった



- ・ 周囲との調和に対し「思わない」「あまり思わない」と回答した人が全体の約 77% になっています。
- ・ また、圧迫感がない適切なものかに対し「思わない」「あまり思わない」と回答した人が約 72%となっています。どちらの回答も「思わない」「あまり思わない」が 70% 以上となっており、広告景観はあまり改善されていないと感じています。

⑥水辺や公園、道路などの公共の空間について

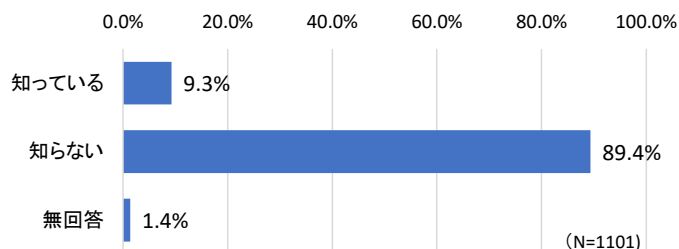
- ・ 緑が豊かになり、手入れも行き届くようになってきた



- ・ 「そう思う」「少し思う」と回答した人が全体の約 64%になり、水辺や公園、道路など公共の空間に緑豊かな景観が形成されていると多くの市民が感じています。

■問 3-1

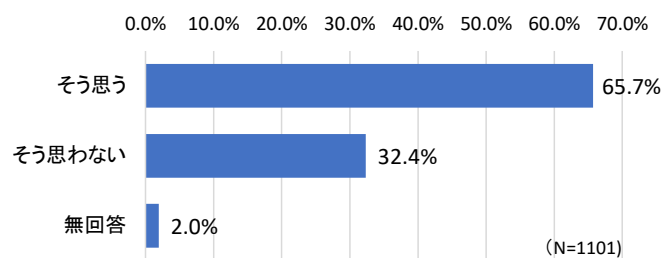
吹田市では開発に当たってその地域の特徴を活かす景観基準を個別に設けた地区(重点地区)が 21 地区あります。あなたはこのことをご存知ですか。



・「知らない」と回答した人が全体の約 89%になり、重点地区が市民にほとんど知られていない結果になりました。

■問 3-2

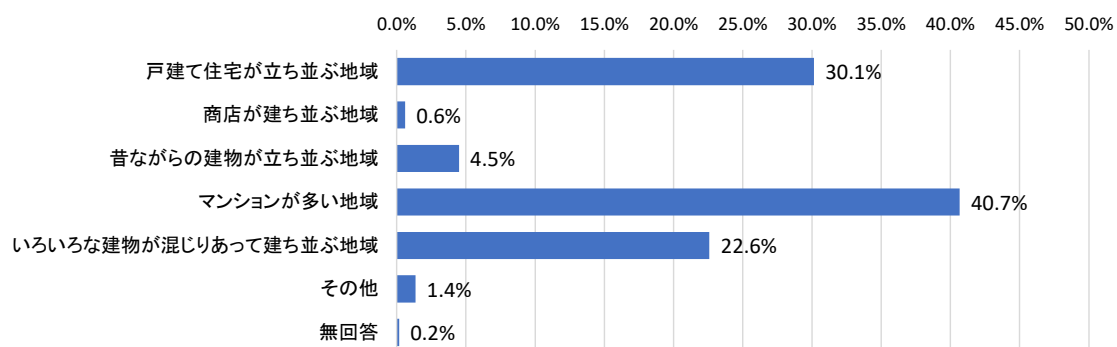
問 3-1 で「知っている」と答えた方にお聞きします。あなたは、このような取組の結果、環境に調和した魅力あるまちなみが形成されたと思いますか。



・「そう思う」と回答した人が約 66%となり、問 3-1 で「知っている」と回答した人の多くが、景観基準によって地域の特徴を活かした魅力あるまちなみ景観が形成されていると感じています。

■問 4-1

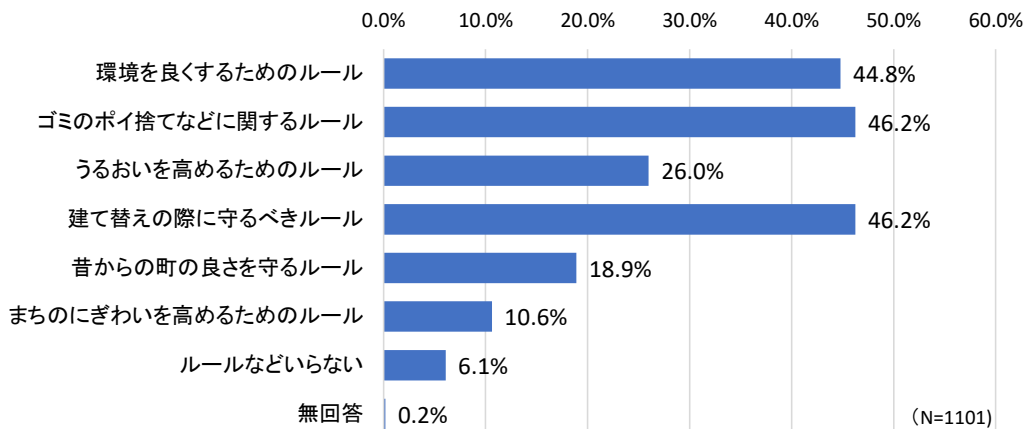
あなたがお住まいの地域はどのような地域ですか。



・「マンションが多い地域」が約 41%と最も多く、ついで「戸建て住居が建ち並ぶ地域」の約 30%、「いろいろな建物が混じりあって建ち並ぶ地域」の約 23%となっています。マンションや戸建て住宅が建ち並ぶ地域に住む人が多い結果となりました。

■問 4-2

あなたがお住まいの地域にはどのような環境や景観に関するルールが必要だと思いますか。(複数回答)

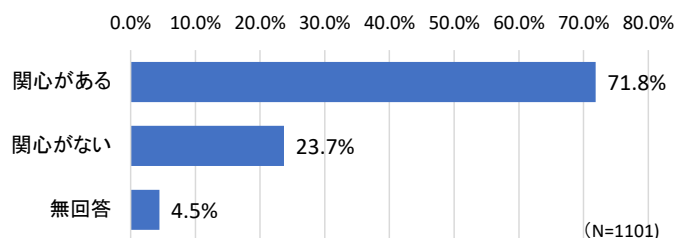


・「ゴミのポイ捨てなどに関するルール」、「建て替えの際に守るべきルール」が最も多く約 46%、ついで「環境を良くするためのルール」の約 45%、「潤いを高めるためのルール」の約 26%となっています。

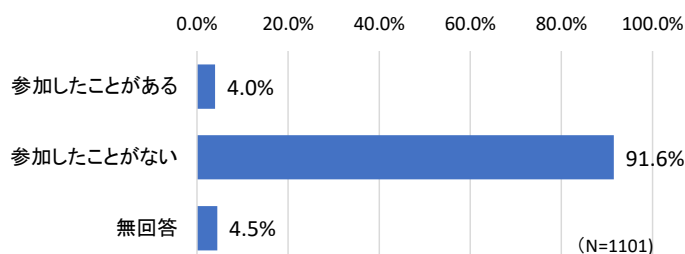
■問 5-1

市民のみなさんが関心を持つことがまちづくりの出発点です。それは環境や景観のまちづくりについても同じです。

- ・ あなたは景観のまちづくりに関心がありますか。



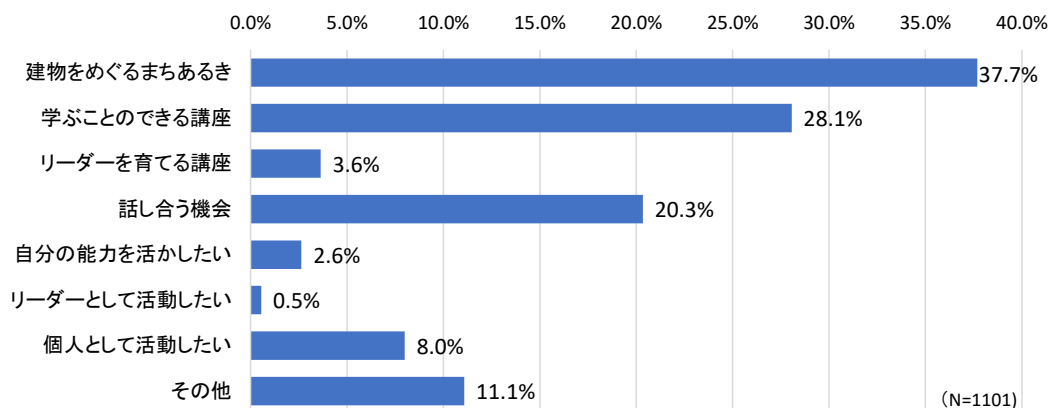
- ・ あなたは景観のまちづくりに関する催しに参加したことがありますか。



- ・ 「関心がある」と回答した人が全体の約 72%になっています。
- ・ また、参加の有無に対し「参加したことがない」と回答した人が全体の約 92%という結果になっています。

■問 5-2

あなたが参加したいと思う催しを教えてください。(複数回答)

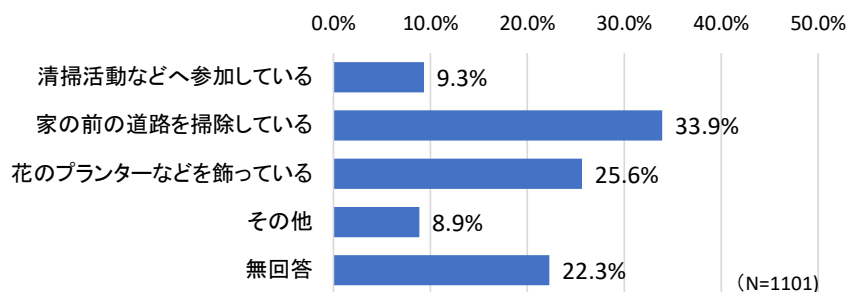


- ・ 「建物をめぐるまちあるき」の約 38%が最も多く、ついで「学ぶことのできる講座」の約 28%、「話し合う機会」の約 20%となっています。

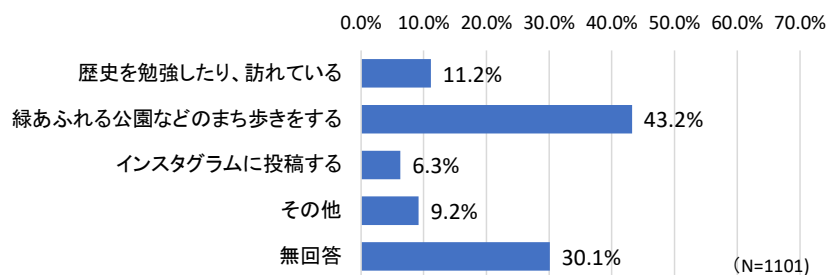
■問 6

普段、お住まいの地域の環境や景観に関連して取り組んでいることはありますか。
(複数回答)

- ・ 美化や整頓・清掃



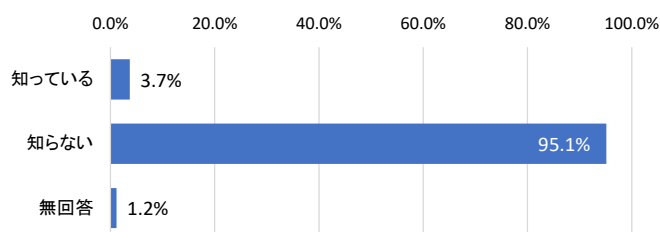
- ・ 観察や発信・情報拡散



- ・ 美化や整頓・清掃に対し「家の前の道路を掃除している」と回答した人が全体の約34%になっています。
- ・ 観察や発信・情報拡散について「緑あふれる公園などのまち歩きをする」と回答した人が全体の約43%になっています。

■問 7-1

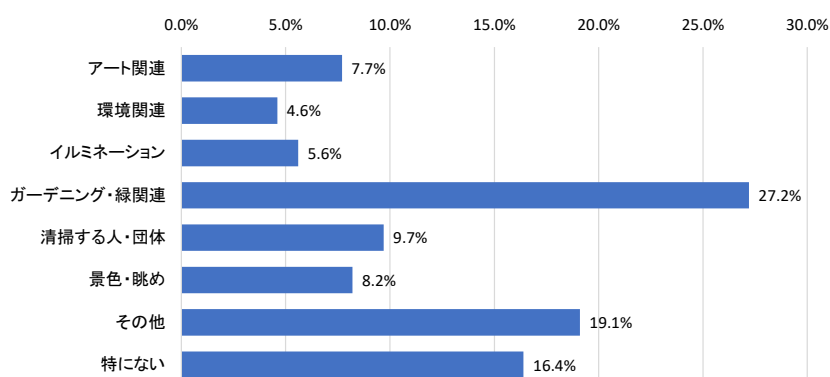
吹田市では、魅力あるまちなみの形成に貢献する建物や活動を表彰する、「吹田市都市景観賞(いいでしょこのまち賞)」を実施しています。これまでに平成 12、14、21 年度に計 3 回実施しました。今後、第 4 回目の企画を検討しています。あなたはこの景観賞をご存知ですか。



・「知らない」と回答した人が全体の約 95%を占め、知名度が低い結果となっています。

■問 7-2

現在の吹田市の景観賞(「まちなみ部門」「はぐくみ部門」)の他に、表彰すべきものとして、どのようなものがありますか。

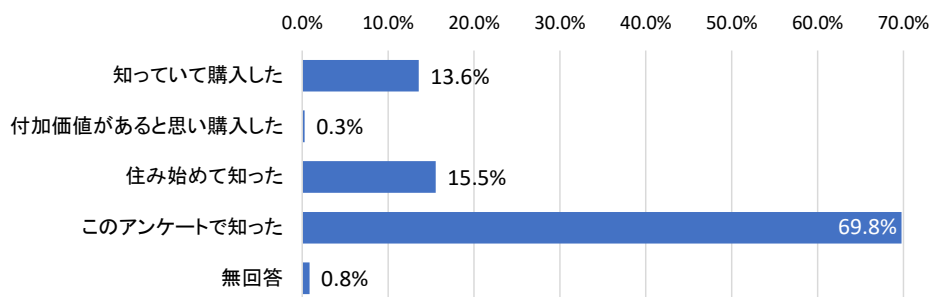


・「ガーデニング・緑関連」と回答した人が全体の約 27%となっており、ついで「清掃する人・団体」、「景色・眺め」がつづいています。

参考1 アンケート調査結果について

■問9

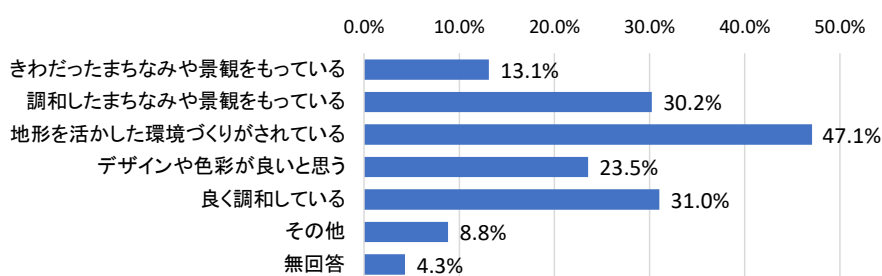
あなたがお住まいの地区は、重点的に景観まちづくりに取り組む「重点地区」((景観形成地区))に指定されています。あなたはこのことをご存じでしたか。



・「このアンケートで知った」と回答した人が全体の約 70%と最も多くなっており、
ついで「住み始めて知った」、「知っていて購入した」がつついています。

■問10

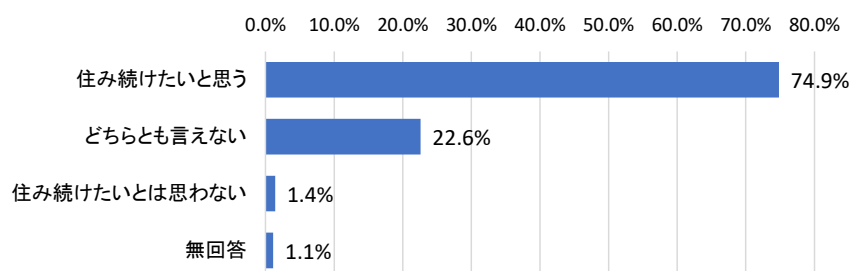
あなたがお住まいの地区のまちなみや景観について、どのように感じていますか。
(複数回答)



・「地形を活かした環境づくりがされている」と回答した人が約 47%となっており、
ついで「良く調和している」、「調和したまちなみや景観をもっている」がつついて
います。

■問 11

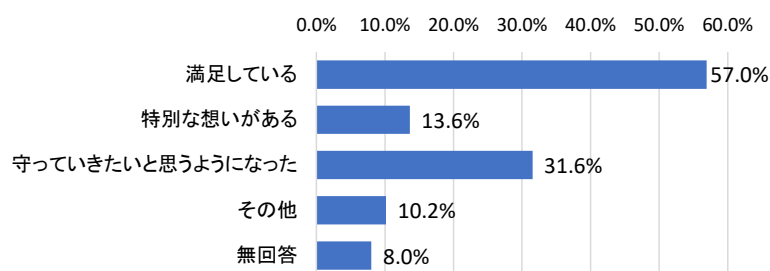
これからも重点地区に住み続けたいと思いますか。



・「住み続けたいと思う」と回答した人が全体の約 75%となっており、多くの人が住み続ける意向を示しています。

■問 12

「重点地区」(景観形成地区)の特徴や役割について、あなたはどのように考えていますか。
(複数回答)



・「満足している」と回答した人が全体の約 57%となっており、ついで「守っていきたいと思うようになった」、「特別な想いがある」がつづいています。

■アンケート調査結果の計画への反映

- 本市は、様々な景観上の特性を有する地域で構成されていますが、市民からはこれらの特性を大切なものと捉えられています（問 1-1、1-2）。そこで、本計画では、地形や歴史、土地利用、都市活動・暮らしの観点でまとまりある地域を「景域」として設定し、それぞれの景域ごとに景観まちづくり方針を設定することとしました。
- 多くの市民の方が景観まちづくりに関心を持っていますが、具体的な催しなどに参加したことのある人が少ない状況です（問 5-1）。そこで、本計画において、景観まちづくりとは、市民などが日常生活の中における「小さな取組」を通じて実現できることを明示し、市民一人一人の景観への取組を誘導する内容をまとめています。

参考2 審議会等名簿

(1)吹田市景観まちづくり審議会

令和元年 (2019年度)	区分	役割	氏名	役職
	学識経験者	会 長	鳴海 邦碩	大阪大学名誉教授
	学識経験者	副会長	久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授
			秋月 有紀	富山大学人間発達科学部教授
			岡 絵理子	関西大学環境都市工学部教授
			上甫木 昭春	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授
			野間 隆康	独立行政法人都市再生機構西日本支社技術監理部長
	関係機関		加藤 幸男	吹田商工会議所議員
			矢倉 マヤ	大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課課長補佐
令和2年 (2020年度)	区分	役割	氏名	役職
	学識経験者	会 長	鳴海 邦碩	大阪大学名誉教授
	学識経験者	副会長	久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授
			秋月 有紀	富山大学人間発達科学部教授
			岡 絵理子	関西大学環境都市工学部教授
			上甫木 昭春	大阪府立大学大学院生命環境科学研究科教授 大阪府立大学名誉教授
			木多 彩子	摂南大学理工学部建築学科教授
			長町 志穂	株式会社 LEM 空間工房代表取締役 京都芸術大学環境デザイン学科客員教授 大阪大学大学院非常勤講師
	関係機関		佐藤 勝紀	独立行政法人都市再生機構西日本支社技術監理部長
			加藤 幸男	吹田商工会議所議員
			谷田 公宏	大阪府住宅まちづくり部建築指導室建築企画課課長補佐
			高見 徹	大阪屋外広告美術協同組合理事長
	市民		濱田 政夫	
			中村 孝之	
令和3年 (2021年度)	区分	役割	氏名	役職
	学識経験者	会 長	久 隆浩	近畿大学総合社会学部教授
	学識経験者	副会長	上甫木 昭春	大阪府立大学名誉教授
			秋月 有紀	富山大学人間発達科学部教授
			岡 絵理子	関西大学環境都市工学部教授
			高原 浩之	株式会社 HTA デザイン事務所代表取締役
			長町 志穂	株式会社 LEM 空間工房代表取締役 京都芸術大学環境デザイン学科客員教授 大阪大学大学院非常勤講師
			若本 和仁	大阪大学大学院工学研究科准教授
	関係機関		長谷川 晋一	独立行政法人都市再生機構西日本支社技術監理部企画課長
			加藤 幸男	吹田商工会議所常議員
			谷田 公宏	大阪府建築部建築指導室建築企画課課長補佐
			松田 政幸	大阪屋外広告美術協同組合理事長
	市民		島本 恵司	
			中村 孝之	

(2)吹田市景観アドバイザー

氏名	役職
藤本 英子	京都市立芸術大学美術学部教授
藤崎 浩治	風景保全研究会代表
若本 和仁	大阪大学大学院工学研究科准教授

(3)吹田市まちづくり検討委員会

役割	委員	役割	委員	役割	委員
委員長	副市長	委員	行政経営部長	委員	下水道部長
副委員長	副市長		環境部長		学校教育部長
委員	危機管理監		都市計画部長		都市魅力部長
	総務部長		土木部長		消防長

(4)まちづくり検討委員会景観専門部会

役割	委員		役割	委員	
部会長	都市計画部	都市計画室 室長	委員	都市計画部	住宅政策室 参事
職務 代理者		都市計画室 参事			資産経営室 参事
委員	総務部	総務室 参事		土木部	総務交通室 参事
	行政経営部	企画財政室 参事			道路室 参事
	市民部	市民自治推進室 参事			公園みどり室 参事
	都市魅力部	地域経済振興室 参事			地域整備推進室 参事
		シティ°ション推進室 参事		下水道部	経営室 参事
		文化スペース推進室 参事			管路保全室 参事
	健康医療部	健康まちづくり室 参事			水再生室 参事
	環境部	環境政策室 参事		学校教育部	学校管理課 課長
		環境保全指導課 課長		地域教育部	まなびの支援課 課長
		事業課 課長			文化財保護課 課長
	都市計画部	計画調整室 参事		消防本部	総務予防室 参事
		開発審査室 参事			

参考3 景観まちづくり計画改定の検討過程

令和元年度(2019 年度)	
委員会等	時期
吹田市景観まちづくり審議会	令和元年 6 月 21 日
吹田市景観まちづくり審議会	令和元年 11 月 1 日
吹田市景観アドバイザー会議	令和元年 11 月 13 日
吹田市景観アドバイザー会議	令和 2 年 1 月 28 日
吹田市まちづくり検討委員会	令和 2 年 1 月 29 日
吹田市景観まちづくり審議会	令和 2 年 3 月 24 日
吹田市景観アドバイザー会議	令和 2 年 3 月 26 日

令和2年度(2020 年度)	
委員会等	時期
まちづくり検討委員会景観専門部会（書面開催）	令和 3 年 3 月 11 日
吹田市景観まちづくり審議会	令和 3 年 3 月 22 日
吹田市まちづくり検討委員会	令和 3 年 3 月 24 日

令和3年度(2021 年度)	
委員会等	時期
吹田市景観アドバイザー会議	令和 3 年 5 月 25 日
まちづくり検討委員会景観専門部会	令和 3 年 6 月 29 日
吹田市まちづくり検討委員会	令和 3 年 7 月 15 日
吹田市景観まちづくり審議会	令和 3 年 7 月 27 日
吹田市景観アドバイザー会議	令和 3 年 8 月 24 日
吹田市景観アドバイザー会議	令和 3 年 9 月 14 日
吹田市景観アドバイザー会議	令和 3 年 9 月 28 日
吹田市景観アドバイザー会議	令和 3 年 10 月 15 日
まちづくり検討委員会景観専門部会	令和 3 年 10 月 12 日
吹田市まちづくり検討委員会	令和 3 年 11 月 4 日
吹田市景観まちづくり審議会	令和 3 年 11 月 9 日
パブリックコメント	令和 3 年 12 月 10 日 ～令和 4 年 1 月 17 日
吹田市景観まちづくり審議会	令和 4 年 2 月 7 日

吹田市景観まちづくり計画

令和4年（2022年）4月

■ 発行

吹田市 都市計画部 都市計画室

〒564-8550 大阪府吹田市泉町1丁目3番40号

TEL:06-6384-1968 / FAX:06-6368-9901

MAIL:toshikei@city.suita.osaka.jp